

青年部 だより

RENTAI FESTA 2018

青年部長 林 涼 史

『RENTAI FESTA 2018』が開催された4月22日（日）、支部青年部として“キャラクターすくい”を出店しました。

オープニングは迫力ある関生太鼓。その後の各団体のあいさつでは、朝鮮学校無償化裁判の状況、戦争法案やTPP、森友問題、原発、沖縄辺野古新基地建設反対運動などについてアピールされました。各団体の熱いあいさつを聞いて、労働者の抱える様々な問題の解決のために、多くの仲間と連帯して、運動を広めていけば、変えることができると感じました。

あいさつ終了後、各ブースが開店、多くのお客さんの賑わいの中、私たちの「キャラクターすくい」



ブースは、このイベント全体に、子供たちの参加が少ないこともあったか、お客さんはまばらでした。

それでも、始めた子どもは、必死にやっている子、ポイが破れても、取ろうとまだ頑張ってる子など、楽しんでいる姿に、私たちも癒されました。

全港湾青年部だけではなく、たくさんの共闘する仲間と一つのイベントを成功させる。一つの組織、団体だけでは達成できない活動を多くの仲間たちと一緒に旗を上げ成功させる。共闘と組織の重要性を強く感じ、私たちも、他の組織・団体に負けない、胸張って歩んでいける知識と力をつけようと思いました。

ブロック活動報告

メーデーは、5月1日に開催するからMAY DAYである。

直射日光の強かった日中に比べ、そよ吹く風に寒さを感じる5月1日の夕刻、阪神尼崎駅前広場は、30本ちかい旗やのぼりが清々しくひるがえり、150名(内、支部19名)の参加者により、『MAY DAYあまがさき2018』は開催され



MAY DAY あまがさき

尼西北ブロック 田中事務局長

た。

まず、主催者を代表して酒井尼崎地区労議長より、メーデーの歴史をふまえて、「働き方改革」がいかに「働かせ改革」であるかが述べられた。次に、各議員の紹介があり、日本共産党議員から、「初めて招待を受けたが、これは野党共闘の広がり示すものである」との発言があった。

各組合代表者のメッセージが続き、参加者全員で「ガンバろう」、最後に、山田副議長(支部副委員長)の閉会の辞と団結がんばろうで集会を締めくくった。

集会後のデモは、外部から多少の暴言や妨害があったが、市民へのアピールと「麻生はやめろ!」「安倍もやめろ!」などのシュプレヒコールを高らかに叫び、夜のとばりについた阪神出屋敷駅前で流れ解散となった。

だんけつ

第320号 2018年5月22日



発行 1-12-27
大 阪 市 港 区 築 港 1
全 日 本 港 湾 労 働 組 合 関 西 地 方 大 阪 支 部
発 行 責 任 者 國 分 仁 昭



5月1日、中之島公園剣先ひろばに全港湾、全労協、全日建などの労働者約700人が結集し、第89回中之島メーデーが開催されました。メーデーは、1日12時間～14時間労働が当たり前だった時代の1886年5月1日、シカゴを中心に「8時間は仕事のために、8時間は休息のために、そして残りの8時間は、俺たちの好きなことのために」をスローガンに、8時間労働制を要求して行ったストライキが起源でした。その後、世界の労働者の闘いとして広まり、現在では世界の約80カ国がメーデーを祝日としています。その意味では、メーデーは労働者の闘いの日です。メーデーの存在が、労働時間の短縮や賃金、労働環境の改善を強く意識づけ、その実現に大きな役割を果たしてきました。

しかし、日本では政治色が強すぎたこと、そして世界的にも「労働者と資本家は必ずしも対立しない」「労働者と資本家の垣根が低くなっている」などの、資本によるデマキャンペーンなどから、闘いの日であるとの意識は薄れています。

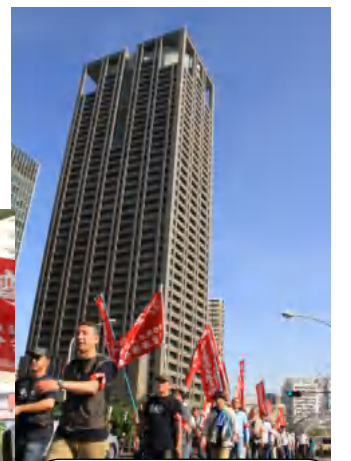
集会は、実行委員会を代表して、全港湾大阪支部・樋口執行委員長が、「労働者の立場にたった政治を目指し、産別を潰そうとする労働組合への弾圧を跳ね返すメーデーにしよう」と挨拶がありました。特別アピールとして「森友学園問題」を中心的に取り組んでいる豊中市議・木村真さんより、改ざんや隠蔽、虚偽報告など、8億円の値引きの根拠が全く究明されていない点などが、また、大阪労働者弁護団・中島代表幹事からは、現

在国会で審議中の「働き方改革」の問題点の訴えがありました。

来賓あいさつでは、中北龍太郎弁護士、各政党関係代表者、自治体議員などからアピールをいただきました。川口真由美さんは平和・沖縄をテーマした歌の熱唱。参加労組からの爭議報告と支援の願いがあり、最後に大阪全労協・福田議長が閉会の挨拶で集会を締めました。デモ行進は、全港湾を先頭に全日建、全労協、市民団体と隊列を組み、「労働法制改悪反対」「働き方改革阻止」「憲法改悪阻止」「森友・加計疑惑問題追及」などを訴えながら、西梅田公園までデモ行進を貫徹しました。



泉州メーデー（浪切ホール）
約200名結集



関電本社前での抗議！